

令和2年1月【放課後等デイサービス パル・タやけこやけ自己評価表】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		活動内容や用途で場所を明確に設定する事で内容や行動を理解し易くしています。個別のスペースにも配慮しておりますが、時間帯によっては場所が近くなったり、動線が混雑することもあり、更に工夫が必要です。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		規定上では、十分満たされているものの、支援の質から見ると不十分であり、また、職員の継続年数も短くまだ未熟で内部の勉強会や外部研修に積極的に取り組み、支援の質を向上させていきます。
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	一般の日本家屋で安全対策のみで使用しています。身近な生活空間なので使用法や注意事項などそのまま児童たちの生活で役に立つように支援に活かしていきます。
業務改善	④	業務改善を勧める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか		○		事業所の目標。それに対する職員の目標と職員一人一人の目標を立て取り組んでいます。半期で振り返りますが（各計画についてはその都度）、支援の質の向上の為、PDCAサイクルに基づいた業務について全職員が熟知し、成果が出るよう取り組みます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		平成29年7月から放課後等デイサービスパルタやけこやけが始動し、初回は、昨年30年3月に実施しました。昨年も1月に実施し、今回で3回目となります。保護者からの意見に答え改善を繰り返し、良いサービスの提供に取り組んでいきます。
	⑥	この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			個人的に回答する内容は、家族単位で説明し、全体的な説明は、自己評価とアンケート結果報告で説明しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を株式会社自立支援生活介護研究所にて準備中です。
	⑧	職員の資質向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	○			必要な研修には積極的に参加しています。各職員に必要とされる研修に年間10回以上参加を目標にしています。

業務改善

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画に従い行っています。発達支援において個別のアセスメントツールが必要な場合、適応行動尺度（バインランドⅡ）も従来のアセスメントと並行し行っています。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		支援計画に基き個別課題や活動、余暇、運動を個別に提供するため、チームで検討し実施しています。各領域でのスキルアップを目指しています。また、季節ごとに制作活動を行い時間や季節の変化を理解し楽しめるように配慮していきます。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			支援計画書に基付き行っています。また、長期休み等で特に要望がある内容（買い物活動、調理活動、山登り等）の活動等を計画し、行っています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		集団をベースに個別に取り組むのではなく、個別スケジュールに集団で行う活動がある事を基本に組み立てていますが、支援者のスキル向上がまだまだ必要で努力していきます。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			8：30からの打ち合わせと遅出職員に合わせた13：00からの打ち合わせで対応していますが、利用児がすでにいる場合は、遅出職員は記録確認と担当職員の伝達で確認しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		全体的には行っているものの伝達が詳細化していないケースもあるため、まずは職員の技術向上を図り、児童との信頼関係の中、方向性を統一し問題解決に向かえるよう取り組んでいきます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	○			毎日、支援記録とケース記録をとり、対応しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にもしくは必要があればその都度、モニタリング、アセスメントをし計画を改善しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			地域交流の機会の提供の部分が薄いため、近所の方との普段の会話や近くの老人施設訪問など積極的に行っています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談事業所のサービス担当者会議にその子どもに精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		現在は、児童発達支援管理責任者のみが行っていますが、特にその児童との関りの深い職員は直接参画する予定です。また、そのように支援者のスキルが向上するように取り組みます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学期ごとと月ごとに予定表を確認して行っています。急な場合には、学校もしくは家族からの連絡により対応します。また、一部の学校とは定期的に担当者会議を実施しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				基本的に医療的ケアが必要な児童は、建物や設備上受け入れられないです。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		現在の所、相談支援専門員が開催するサービス担当者会議で行っています。また緊急に必要な場合は、相談支援専門員を通し情報を得ています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		平成29年の7月に開所ということもあり、その対象になる児童がいませんが、その時期に備え正しく、詳しい情報提供をするために記録しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研究を受けているか	○			積極的に外部研修等に参加する事で、支援の質の向上を図るようにしています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの無い子どもと活動する機会があるか		○		運動公園や図書館の利用等で自然に一緒に過ごせるようにしています。毎年8月には武道団体との交流会を実施しています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状態を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や帰りの引継ぎ時に、その都度お話をさせていただいています。
㉙	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	まだ機会はありませんが、研修には参加しています。支援の出来る状態を目指しています。	

保護者への説明責任等

③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時やモニタリング、支援計画策定において説明しています。また、玄関に見やすく掲示しています。
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		その都度行っていますが出来る範囲なので適切な対応をするために色々な研修にも定期的に参加し、更に良い支援が出来るようにします。
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	家族からの意見を考慮した上で、きっかけ作りなど出来る行事を計画しています。あくまでも家族側の意見を考慮していく考えです。
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応しています。苦情ばかりでなく、普段の質問や要望についても対応しています。契約時の説明の通り、苦情やご意見は、気軽に職員に伝えるなり、玄関の投書箱を活用していただいてもかまいません。
③⑭	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「おたより」という形で行っています。児童や保護者からの要望を拾い上げ、更に充実させていきたいと思っています。
③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			同意書の事項と個人情報取り扱いマニュアルに従っています。
③⑯	障がいのある児童や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	○			家族や児童の要望や状況により個別に対応しています。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			特に近隣に対しては、普段の清掃活動や外出時のコミュニケーションで対応しています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約やモニタリング等での面談で説明し、玄関でも家族が閲覧出来るようにしています。
	③⑨	非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練年間計画を立て、年に4回実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内に虐待防止委員会を設け虐待の実態。虐待が起こる背景。虐待が起こる理由。事業所での人権擁護に対しての話し合い。と、順序立てし、定期的に勉強会を行っています。また、研修会にも参加しています。
	④⑪	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			危険回避のため静止させなくてはならない場合でもその方法など最良と思われる対処法で行う事や家族への報告、その後の対処法の確認をしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○			必ず利用前に確認を取り、対応法を計画書にも盛り込みます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			些細な事でも終業時と翌朝の打ち合わせで確認し、毎月の職員会議で再度話し合います。